

全南大学校東アジア研究所学術発表

日本の視覚障害児の教育

～ 盲児を中心として ～

2011年2月25日(金)

北海道文教大学 准教授 鈴木 重 男

全南大学校 趙 洪 仲 教授様のお招きに感謝申し上げます。

**2009年
金 源慶 名誉団長
金 日明 教授**



**1997年 北海道サッカー協会常務理事
ソウル特別市サッカー協会会長 田 寛道先生
2007年御逝去 韓国の父として
人の生きる道を、お教え頂きました。感謝。**

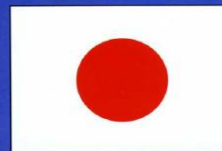
日韓知的障がい者サッカーフェスティバル

in SAPPORO

2009年8月22日(土)

～ 札幌厚別公園競技場が熱くなる ～

入場無料



VS



日本代表チーム
日本代表(北海道)

韓国代表チーム
韓国代表チーム

みんなで一緒に日韓戦を応援しよう!



平成21年8月22日(土)

試合開始11時00分 Kick off

場所: 札幌厚別公園競技場

主催: 日本ハンディキャップサッカー連盟

特定非営利活動法人 日本知的障害者サッカー支援機構

主管: 北海道チャレンジドサッカー連盟

協力: 財団法人 北海道サッカー協会

北海道文教大学 こども発達学科 チャレンジド スポーツ教室



チャレンジド・スポーツ教室 クリスマス会





札幌大学
チャレンジド
スポーツ教室
奇数土曜日

札幌大学
チャレンジド
学習塾
偶数土曜日



目 次

- 1 日本の視覚障害教育の現状と課題**
- 2 点字指導**
 - ・日本点字
 - ・鈴木式点字触読指導法
- 3 歩行O&M指導**
 - ・O&Mの指導内容
 - ・北海道の雪路歩行
 - ・Sonic-Guideの活用
- 4 スポーツ指導**
 - ・体育指導の体系
 - ・レスリングの指導
- 5 視覚障害教育のアラカルト**
 - ・統合教育
 - ・指導のヒント

1 日本の視覚障害教育の 現状と課題

日本の特別支援教育の制度

特別支援学校

視覚障害

聴覚障害

知的障害

肢体不自由

病弱・
身体虚弱

特別支援学級

視覚障害

聴覚障害

知的障害

肢体不自由

病弱・身
体虚弱

言語障害

自閉症・
情緒障害

小・中学校

通級による指導

視覚障害

聴覚障害

肢体不自由

病弱・身体虚弱

言語障害

自閉症

情緒障害

学習障害LD

注意欠陥多動性
障害ADHD

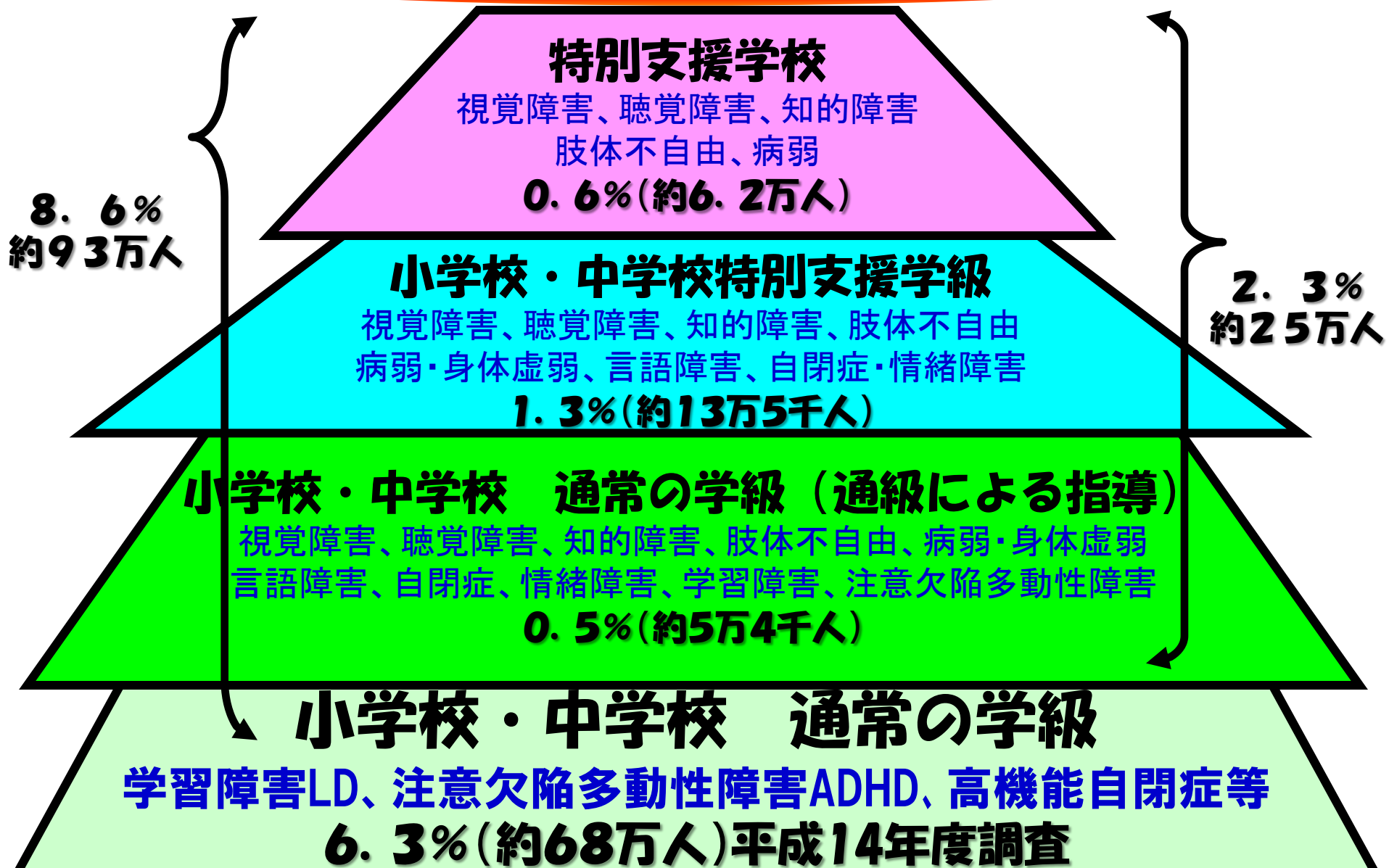
通常の学級

学習障害
LD

注意欠陥
多動性障
害ADHD

高機能自
閉症

特別支援教育の対象(小学校・中学校段階1074万人)



① 特別支援学校の現状（平成21年5月1日現在）

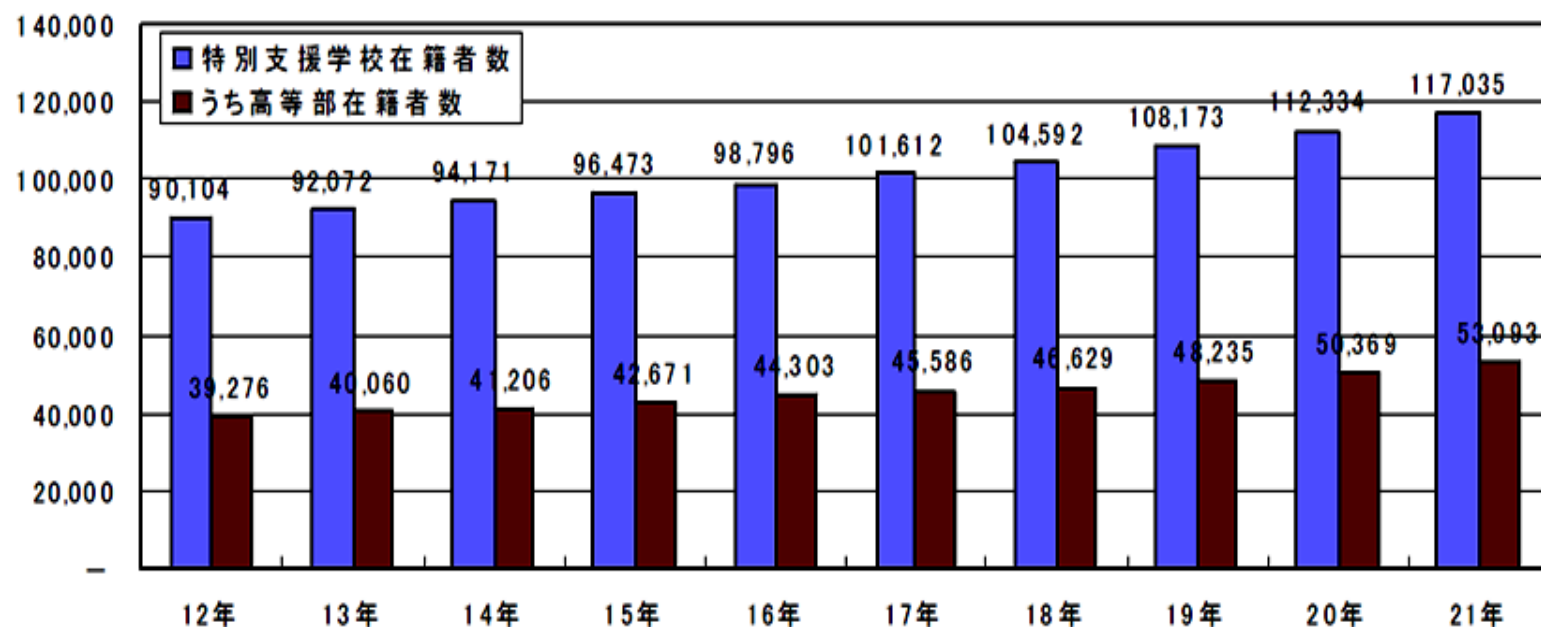
※平成18年度までの数値は、盲学校、聾学校及び養護学校の数値を用いている。

（平成21年5月現在の状況）

（幼稚部及び高等部を含む。）

	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱・身体虚弱	計
学校数	83	116	632	295	129	1,030
在籍者数	5,798	8,461	102,084	31,086	18,926	117,035

特別支援学校（国・公・私計）高等部在籍者数の推移

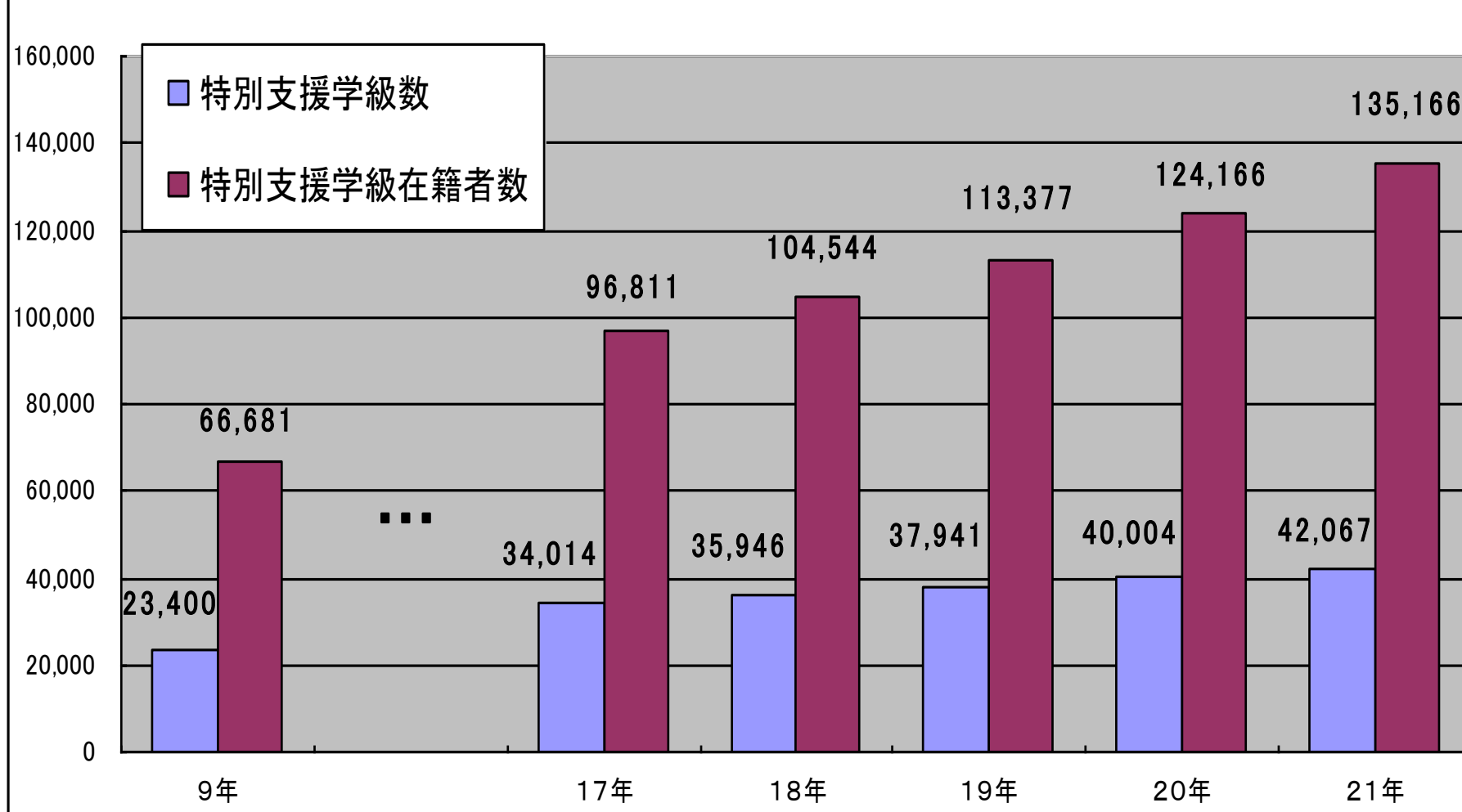


※ 平成18年度までの数値は、盲学校、聾学校及び養護学校の数値を用いている。

※ 平成12年度から21年度までの在籍者数の増加(26,931人)のうち、高等部の増加(13,817人)が51%を占める。

②特別支援学級の現状

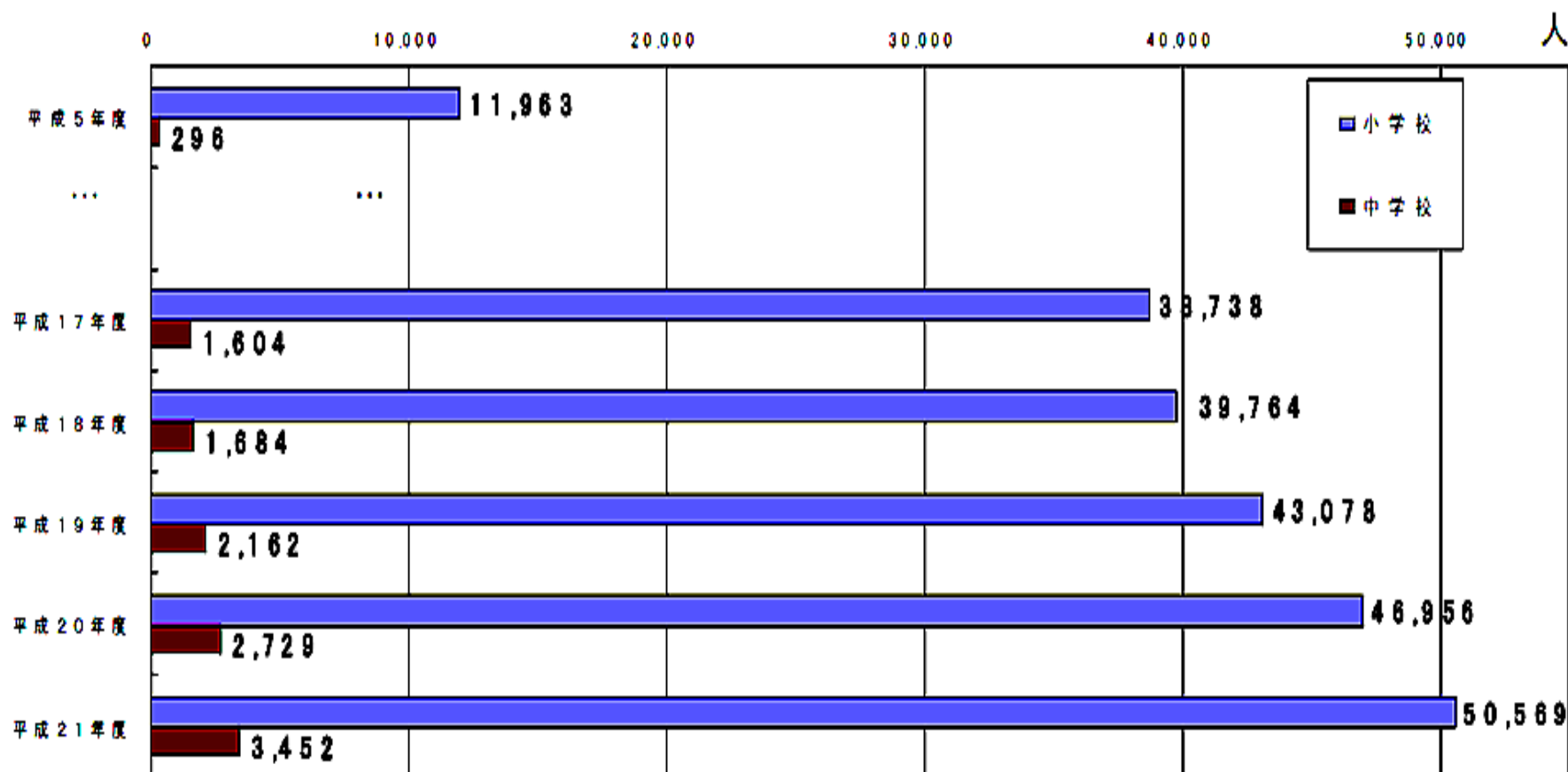
特別支援学級数及び特別支援学級在籍者数の推移



③ 通級による指導の現状(平成21年5月1日現在)

通級による指導は、小・中学校の通常の学級に在籍している障害の軽い子どもが、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、障害の状態等に応じた特別の指導を特別な場(通級指導教室)で受ける指導形態である。

通級による指導対象児童生徒数の推移



日本の視覚障害教育の現況

視覚障害特別支援学校 68校

幼稚部	254名
小学部	660名
中学部	519名
高等部	1.195名
合 計	3.478名

視覚障害以外の特別支援学校
2,320名

視覚障害児童生徒の推計

視覚障害特別支援学校

小・中学部の在籍率 0.01%

人口100万人(全年齢)につき

- 視覚障害特別支援学校小・中学部
約10名
- 通常学級に在籍する視覚障害児
約16名
- 小・中学校弱視特別支援学級
約 3名

北海道の視覚障害教育の現況

北海道の特別支援学校

2010年度

学校数62校

盲学校 5校

日本の盲学校数 68校

在籍者数4,917名

在籍者数175名

在籍者数3,478名

旭川盲学校30名
1922年

札幌盲学校41名
1943年
高等盲学校67名
1972年

帯広盲学校16名
1937年

函館盲学校17名
1895年

北海道

面積 : 83,550km²

人口 : 560万人



Shiretoko



ヒグマ



丹頂鶴

盲学校で重要と考える専門性

重要と考える専門性

区分	項目
1	各教科の指導力
2	点字の指導力
3	視覚障害教育の基礎
4	歩行の指導
5	弱視児の指導
6	重複障害児の指導
7	触察等の指導

専門性：不易流行

高校時代に身につけておくべき力

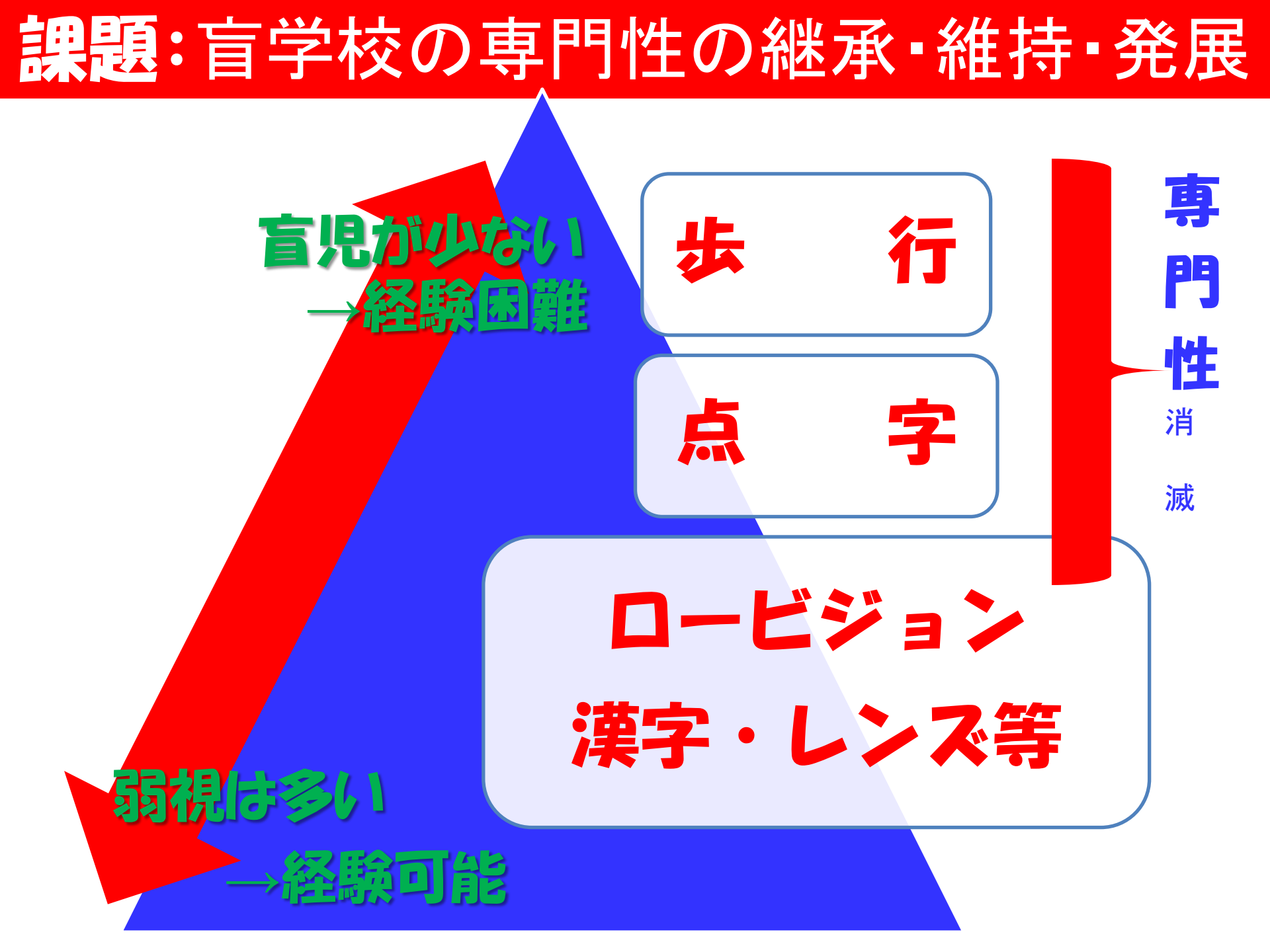
全国高等学校長協会特別支援学校部会・全国盲学校長会大学進学対策特別委員会
視覚障害学生実態調査報告書 平成21年6月

時代を通して変わらざるものと

- ★白杖で自由に移動できる力
- ★必要な支援を把握し、適切に依頼できる力
- ★他学生や職員とコミュニケーションできる力
- ★全てを任せにせずに積極的に関与する力
- ★レポートを書くために必要な普通文字の知識

時代が必要とするもの

- ★パソコンや支援機器に関する活用力
- ★携帯用点字末端を活用し、ノートを取る力



盲学校の 伝統的専門性が 消えていく

点字指導

Orientation & Mobility



鈴木 重男

北海道立特殊教育センター所長

○専門性は消えるもの

私が奉職した三五年前当時は、北海道内の各盲学校ではそれぞれの学校が独自に工夫した指導内容・方法が受け継がれており、どの学校でも視覚障害教育の専門性に基づいた指導がなされていた。その高い専門性を誇っていた北海道内の盲学校に、後日、校長として勤めたとき、盲学校の伝統的な専門性が消えてしまった衝撃的な体験をしました。

A盲学校に赴任した最初の冬のことです。子どもたちの玄関前は初雪が積もり、真っ白でした。ちょうど、そこに白杖を携えた盲児がやってきました。その子の歩行指導の時間でした。私は、校長室で執務してから、また玄関に行ってみました。すると、さっきの白杖を携えた盲児が、まだ玄関前の雪の中にいて、学校前の道路に出て行くことができません。私は、「どうして、さっきから同じ所をうろうろしているのですか」と先生に聞いてみましたところ、「雪で点字ブロックが隠れてしまいい。子どもがそれを探せず、立ち往生しているのです」と話してくれました。このことにより、点字ブロックを頼りにする歩行指導をするあまり、歩行指導の基本である玄関前の環境構成

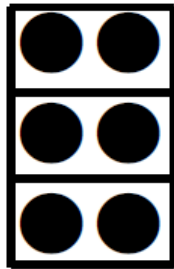
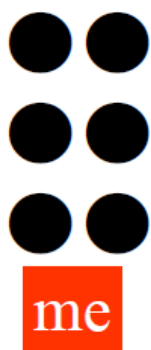
や玄関と道路との位置関係などをきめ細かく指導していなかった実態が明らかになりました。

また、次に赴任したB盲学校では、重複障害学級の授業で点字を使う盲児が少ないので「どうして子どもたちに点字を指導しないのですか」と先生方に聞いてみました。すると「このあたりは、重複障害児でまだ点字を学ぶまでの発達段階には至っておりませんので、知的障害養護学校の教育課程に基づいた指導をしています」となんの疑いもなく話し、その後も点字を指導するそぶりがありません。私は、七月に入ってから、幼稚園と小学部重複障害学級の点字を使用すべき子どもたち一人一人に対して、一人に二時間程度をかけて、子どもたちの手を取って、ボディイメージや数概念、触察による図形概念の形成状況などを調べてみました。すると点字をすぐにでも指導できず、着席しての対面指導が可能になれば点字指導ができる子、手指の動きを統制できれば点字指導が可能など判断できる子どもたちが多くいました。当然、この結果を担任に説明し、保護者にも伝えて、二期からは、教育課程を点字指導と点字の触読を可能にする教科指導を行うよう抜本的に変更しました。

2 点字指導

- ・日本の点字**
- ・鈴木式点字触読指導法**

日本の点字



ISHIKAWA
kuraji
石川倉次
(1859~1944)
日本点字の翻案
1890年11月
1日に、正式採用

点字の構成

母音 Vowel	a	i	u	e	o
	●	● ●	● ●	● ● ●	● ● ●

K-line	ka	ki	ku	ke	ko
	●	● ●	● ●	● ● ●	● ● ●
+ ⑥	●	●	●	●	●

S-line	sa	si	su	se	so
	●	● ●	● ●	● ● ●	● ● ●
+ ⑤ ⑥	● ●	● ●	● ●	● ●	● ●

ma	mi	mu	me 目	mo
●	●	● ●	● ●	●
● ●	● ●	● ●	● ●	● ●
● ●	● ●	● ●	● ●	● ●

1970年 鈴木式点字指導法の工夫

資料2

1970年

鈴木は、中途失明の教師が複数名、学校を休職し、北海道札幌盲学校で、理療師を目指し、点字教科書ではなく、テープレコーダーで学習する姿を知った。

新しい発想

盲学校小学部1年生の
点字触読実態を整理・分析・考察して、
中途失明者の点字触読指導に活用

a	me	re	fu	u	i	ni	ku
●	● ● ● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	● ●	● ●	● ● ●	● ● ●

a	me	re	fu
●	●●	●●	●●
	●●	●●	
	●●		●●

鈴木式点字指導法

a	me	a	me	fu	re	fu	re
●	●●	●	●●	●●	●●	●●	●●
	●●		●●		●●		●●
	●●		●●	●●		●●	

a	me
●	●●
	●●
	●●

雨



fu	re
●●	●●
	●●
●●	

降れ



童謡 あめふり

a	ni	me	i	ni	a	i	ni	i	ku
●	● ● ●	●● ●● ●●	● ●	● ● ●	●	● ●	● ● ●	● ●	●● ●

형 질

질자에게

만나러

간다

me	i	re	i	ni	u	me	ku
●● ●● ●●	● ●	●● ●●	● ●	● ● ●	●●	●● ●● ●●	●● ●

명령에 신음한다

a	ni	ni	a	u
●	● ● ●	● ● ●	●	●●

형(오빠)에게 만난다

鈴木式点字指導法

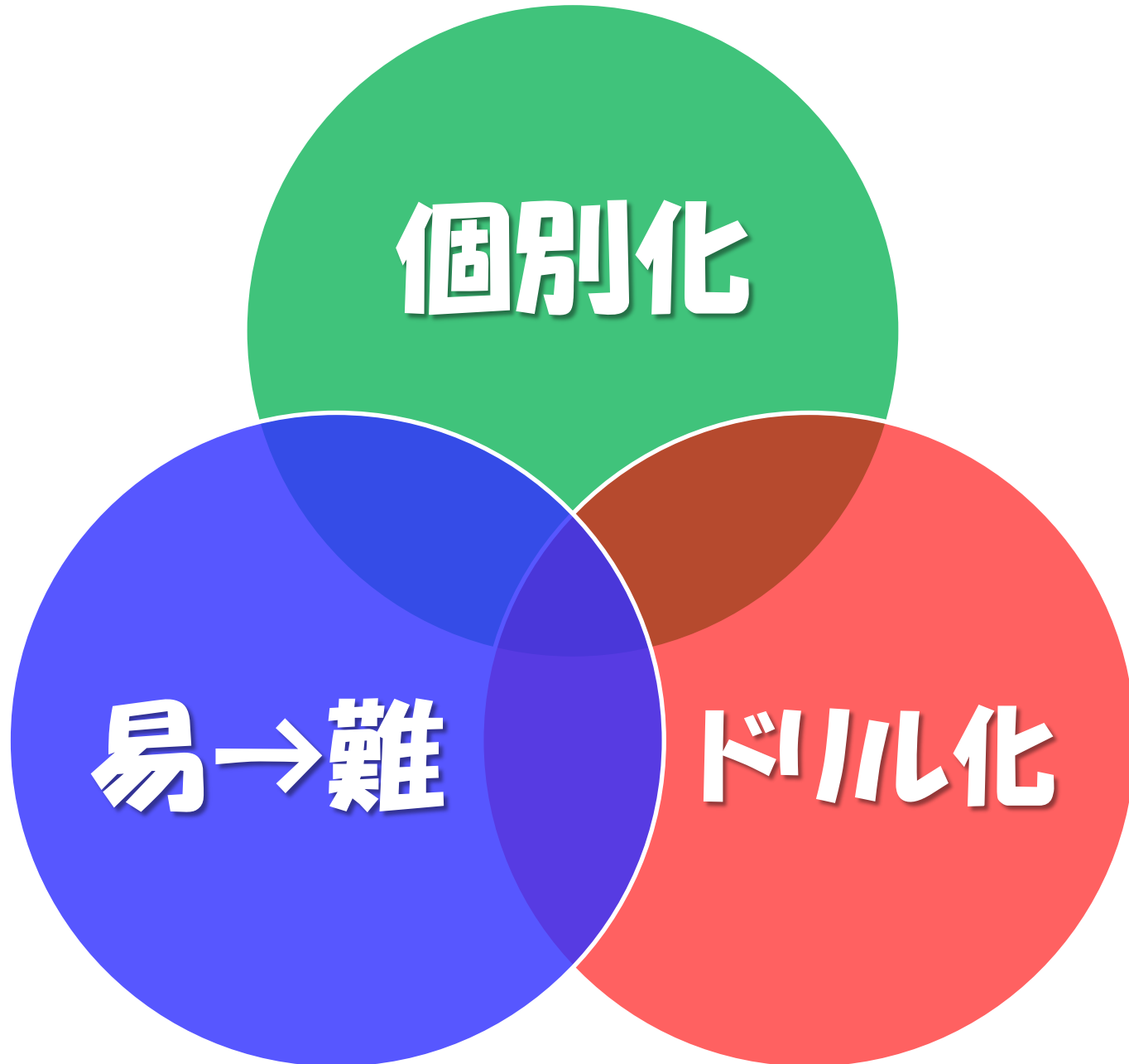
No 1	A ●○ ○○ ○○	Me ●● ●● ●●	Re ●● ●● ○○	Fu ●● ○○ ●●	U ●● ○○ ○○	I ●○ ●○ ○○	Ni ●○ ●○ ●○	Ku ●● ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○
No 2	Ko ○○● ●○ ○○●	Ka ●○ ○○ ○○	O ○○● ●○ ○○	Yo ○○● ○○● ●○	Hi ●○ ●○ ●●	Nu ●● ○○ ●○	No ○○● ●○ ●○	To ○○ ●● ●○	Na ●○ ○○ ●○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○
No 3	Ta ●○ ○○● ●○	Sa ●○ ○○ ○○	Shi ●○ ●● ○○	Mi ●○ ●● ●●	Wa ○○ ○○ ●○	Mu ●● ○○ ●●	Ne ●● ●○ ●○	Mo ○○ ●● ●●	Tu ●● ○○ ●○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○
No 4	Yu ○○● ○○ ●●	Su ●● ○○ ○○	Wo ○○ ○○ ●○	Ya ○○● ○○ ●○	Ha ●○ ○○ ●●	Ru ●● ○○ ○○	Ma ●○ ○○ ●●	So ○○ ●● ○○	Ki ●○ ●○ ○○	○○ ○○ ○○	○○ ○○ ○○
No 5	He ●● ●○ ●●	Ke ●● ●○ ○○	Nn ○○ ○○ ●●	Ho ○○● ●○ ●●	Ra ●○ ○○ ○○	Se ●● ●● ○○	Ti ●○ ●● ●○	Ri ●○ ●● ○○	Ro ○○ ●● ○○	E ●● ●○ ○○	Te ●● ●● ●○

瀬尾政雄「入門期における点字読字能力の発達について」盲心理研究第14巻 1966

小学部1年生4名の5月、6月の触読点字実態表が掲載

鈴木：5月段階で全員が触読可能点字は。誰もが容易に読むことが可能。

指導実践を加味して5段階に分類。



盲幼児への点字の打字指導

片手打ちアタッチメント の応用



小さな手と
非力への対応



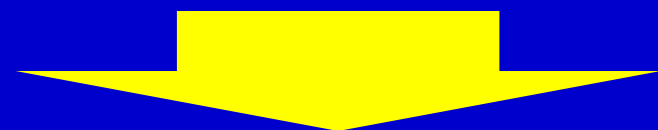
3 歩行O&M指導

- ・O&Mの指導内容**
- ・北海道の雪路歩行**
- ・Sonicguideの活用**

あなたは この子に
何を ？



盲児の歩行



頭の中に 地図を持つ 指導



頭の中に地図を入れる Mental-Map

体の中の
地図

手の中
の地図

頭の中
の地図

Body
Image

教室の
地図

校内の
地図

学校敷
地内の
地図

学校周
辺等の
地図

Mental
Map

RESEARCH BULLETIN

CONTENTS

Forward
Hiroyuki Seki
Assistant Director
Nippon Lighthouse, Adjustment &
Industrial Training Center for
the Blind

Vocational Rehabilitation of the Visually Impaired and Blind
Persons

Tadao Koda
Professor
Department of Sociology
Kansai University

Sheltered Workshops for the Blind Persons

Ryoji Tanaka
Managing Director
Tokyo Lighthouse for the Blind,
I.N.C.

Progressive Approach of Orientation & Mobility Training Program
for the Congenitally Blind & Newly Visually Handicapped Children

Shigeo Suzuki
Teacher
Hokkaido Sapporo School for Blind

Outline of Ophthalmic Treatment in Nepal

Itaru Kurozumi
Hyogo College of Medicine Asso-
ciation for Ophthalmic Coopera-
tion to Asia

Published by

ADJUSTMENT AND INDUSTRIAL VACATIONAL TRAINING CENTER

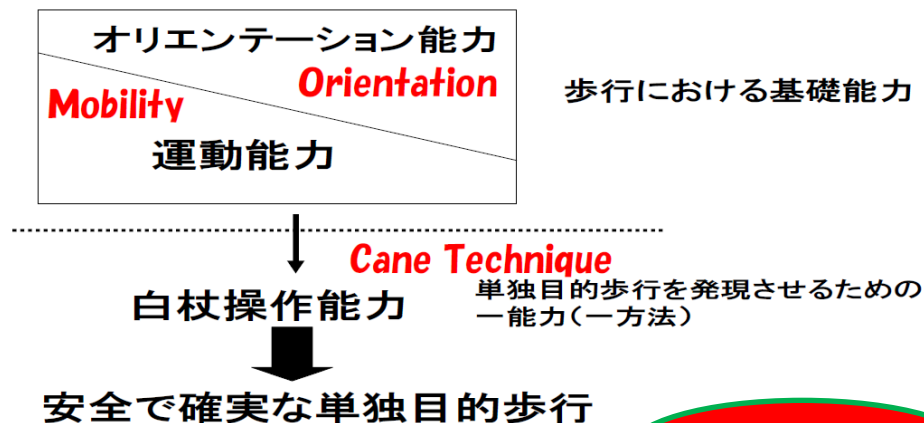
Nippon Lighthouse, Welfare Center for the Blind

OSAKA, JAPAN

Orientation & Mobility

その環境における、自分自身の位置を、常に、定位しながら、
安全な方法で、目的地まで、移動すること

盲児の歩行指導



資料3

1. ボディーイメージ要素
2. 方向概念要素
3. 対音源歩行要素
4. 音源軌跡要素
5. 歩行軌跡要素
6. 対風、対太陽に対しての身体の方角づけ要素
7. 空間構成物の関係把握要素
8. 白杖探索要素
9. 白杖操作要素
10. 歩行標識と点地図作成要素
11. 読図歩行要素
12. 雪路白杖操作要素

○幼稚園部

①ボディイメージ

- ・主要な体の部位名
- ・Laterality(絶対的方向)の強化

・基本的な動作

②軌跡

- ・基本的な動作
- ・単純な歩行軌跡
- ・音源定位→音源移動軌跡

③地図

- ・室内ミニチュア
- ・トレーリングと防衛
- ・障害物(空間構成物)の発見と賞賛

④白杖探索

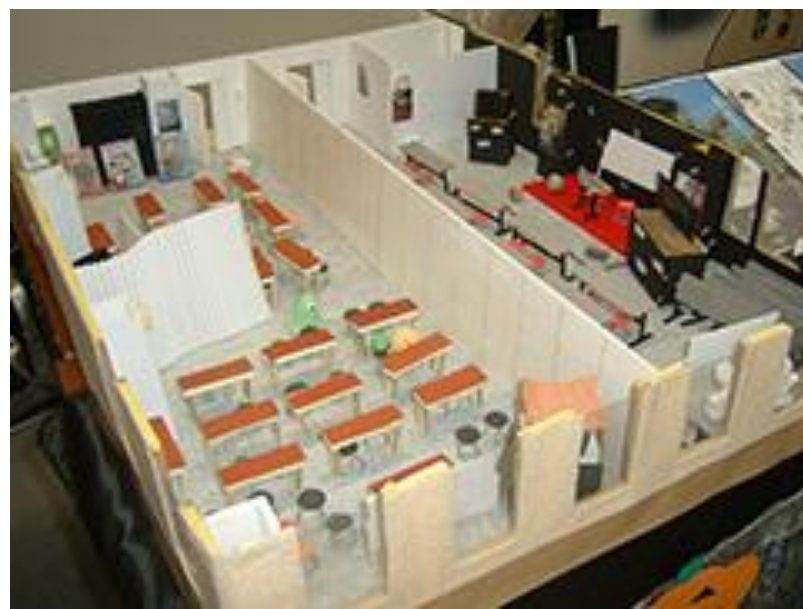
- ・音で
- ・白杖からの感触で





ヘレン・ケラー 人形遊び

Directionality



○小学部低学年

①ボディイメージ

- ・細かな体の部位名
- ・様々な動作
- ・Directionality(相対的方向)の強化

②軌跡

- ・図形的歩行軌跡
- ・交差点における交通音の流れ

③地図

- ・校舎内
- ・学校敷地内
- ・学校周辺

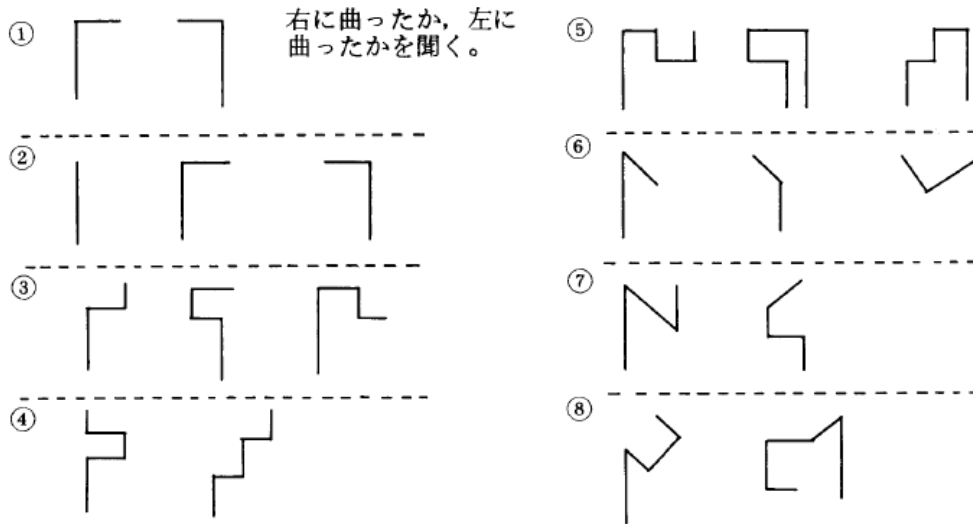
④タッチ テクニック

- ・2ポイント タッチ テクニック
- ・ショートケーン・テクニク
- ・ガイドライン・テクニク
- ・スライド・テクニク

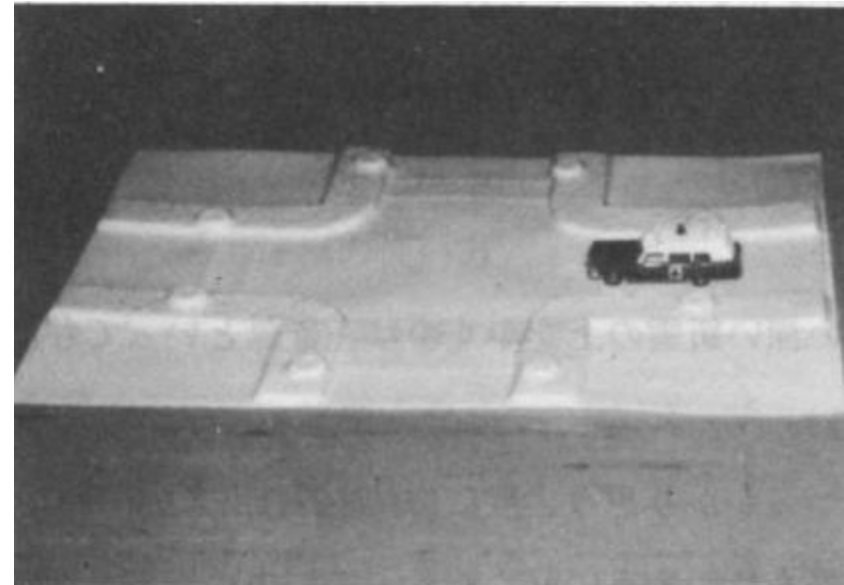
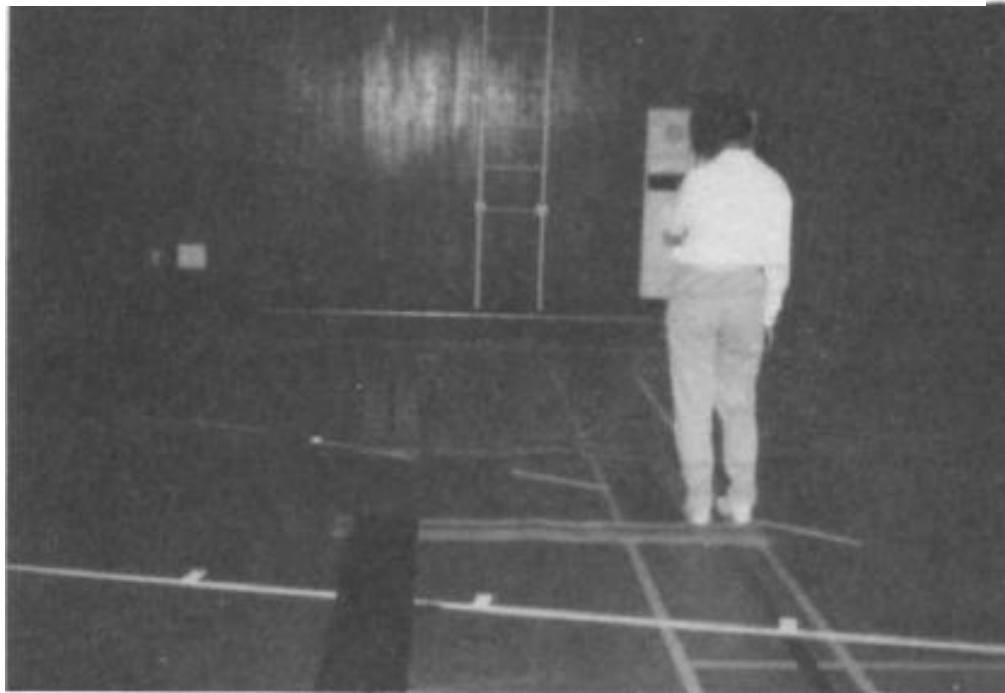
⑤ルート歩行(近辺の店への買物:自立の一步)



図形的歩行軌跡



交差点学習 音源軌跡

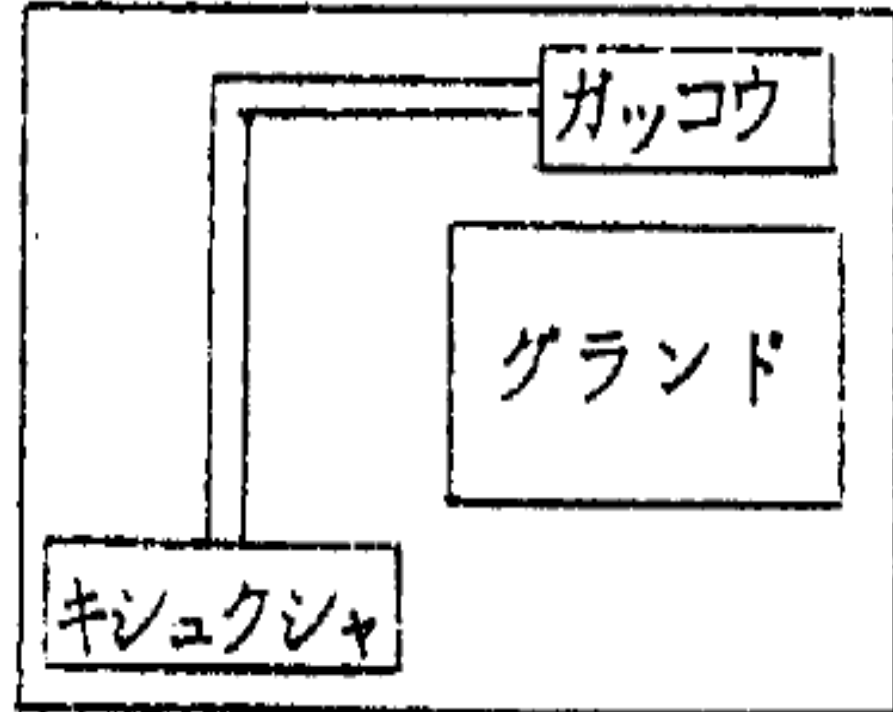
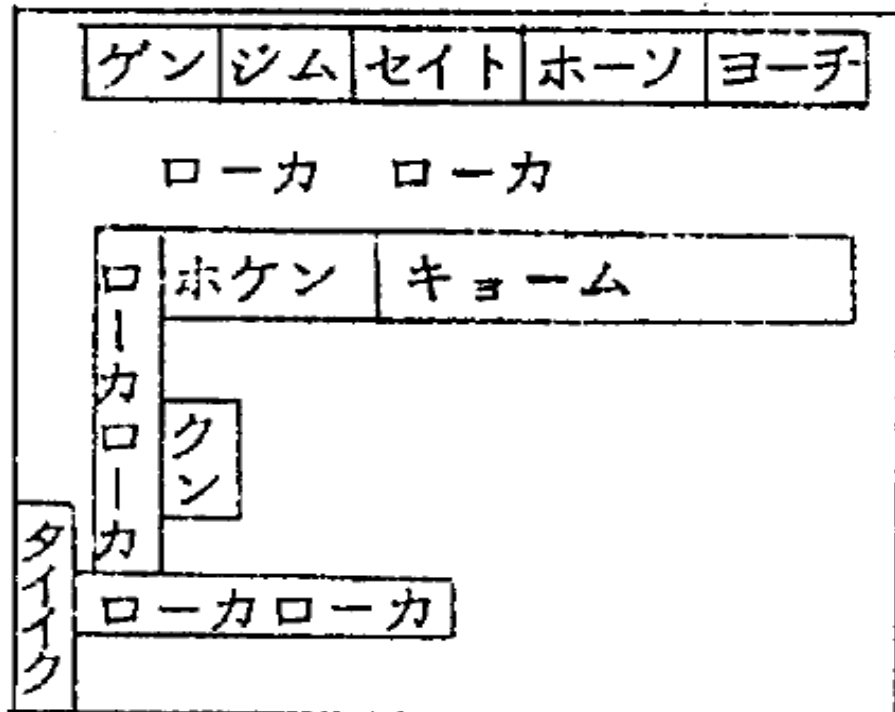
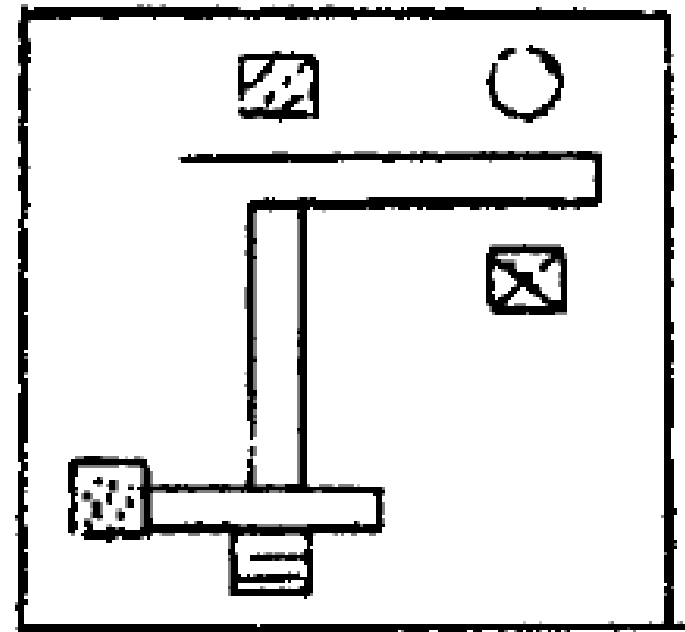
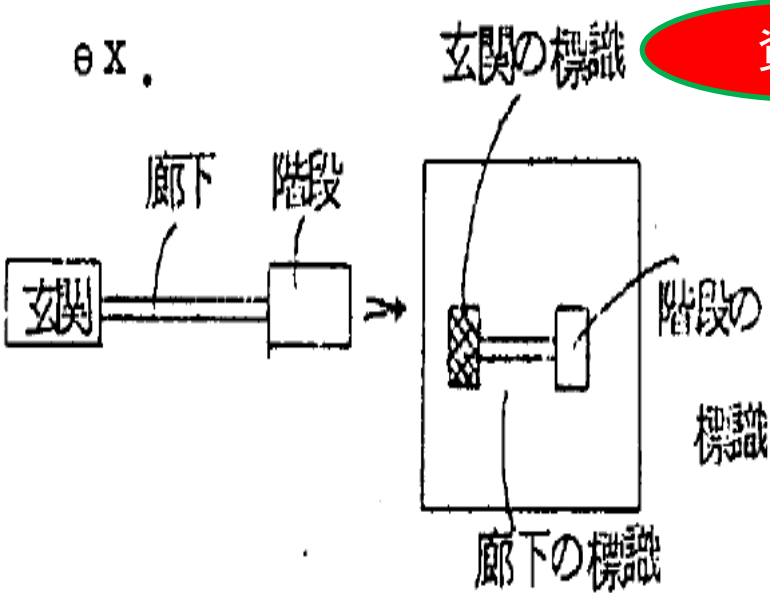


交差点モデル学習シート

θ X .

資料4

θ X .



○小学校高学年

①軌跡

- ・図形的歩行軌跡(45° 、 90° 、 135° 、 270° 、 315°)
- ・太陽・気流を用いた閉鎖図形歩行

②地図歩行

- ・学校周辺

③交通機関の使用

④ルートによる単独帰省

○中学部以上

①居住地読図歩行

②目的歩行

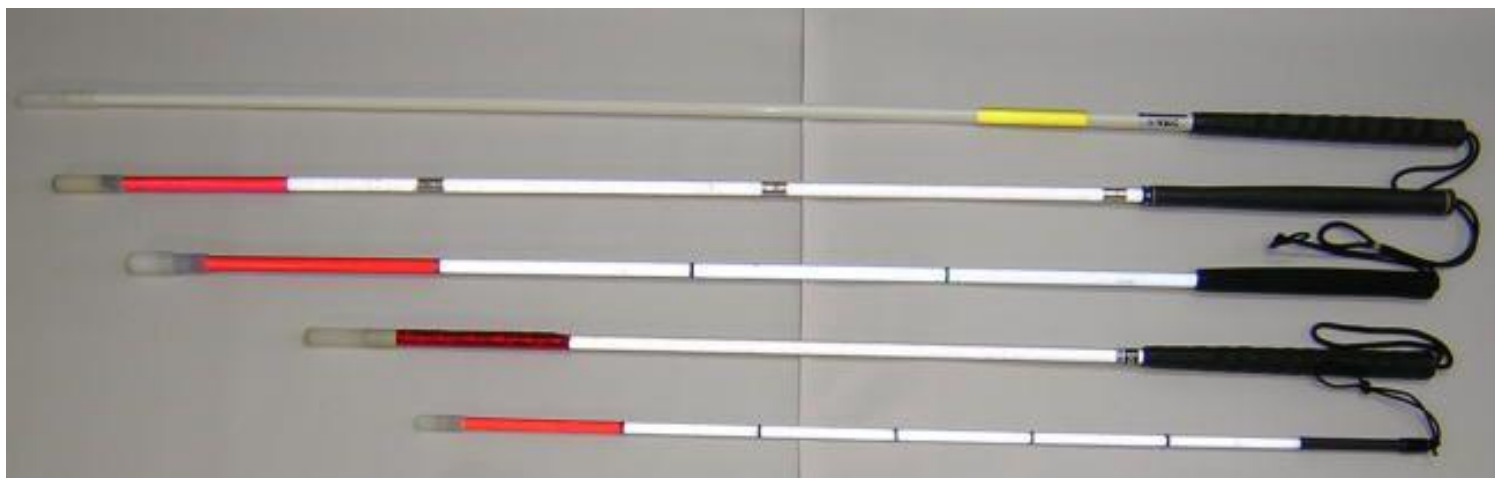
- ・交通機関の使用

昭和40年代札幌市内



白杖 White Cane

- ①視覚障害者のシンボル機能
- ②路面(凹凸等)情報の入力機能
- ③下方障害物の防御機能

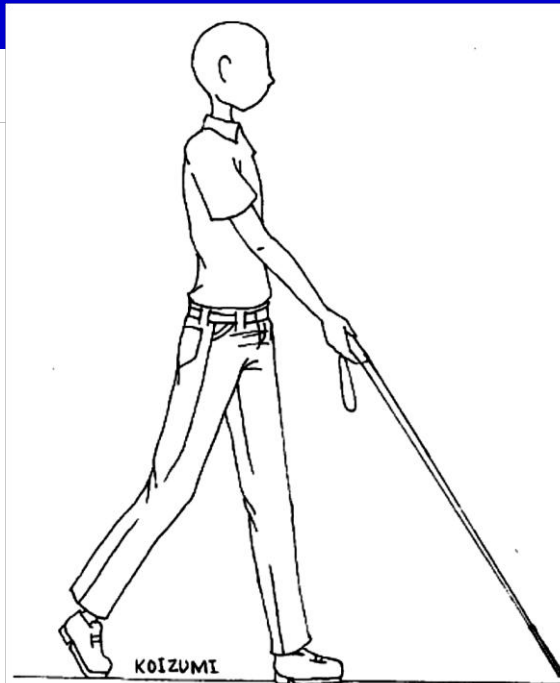
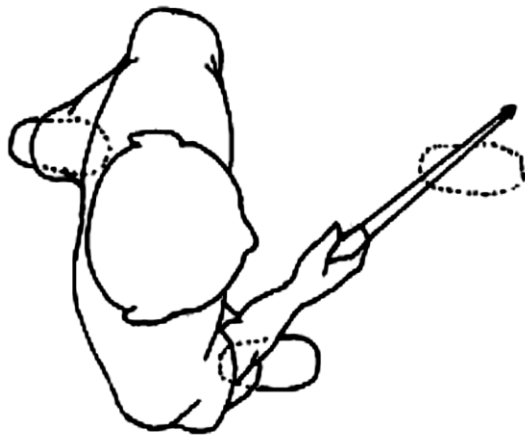


白杖と石突



タッチ・テクニック Touch technique

- ・白杖の接地地点 : 2歩前方分の距離とする。
- ・振り幅 : 肩幅
- ・白杖接地リズム : 足の接地リズムと同じリズム
- ・白杖の接地方向 : 対足側に白杖を接地する
- ・白杖操作 : 柔らかな手首の操作
- ・処方された白杖: 歩行能力、身長、歩幅により長さを決定
- ・閉じた技能としての定着化
- ・白杖からの入力情報と他感覚器官を通した情報を、総合的に同時処理化



盲児の
柔かく、
しなやかな
りきみのない
姿勢が
エコーロケーションの
向上につながる。

ダイアガナル・テクニック

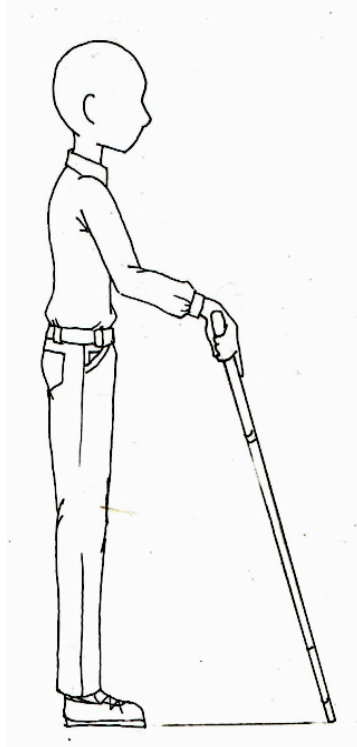
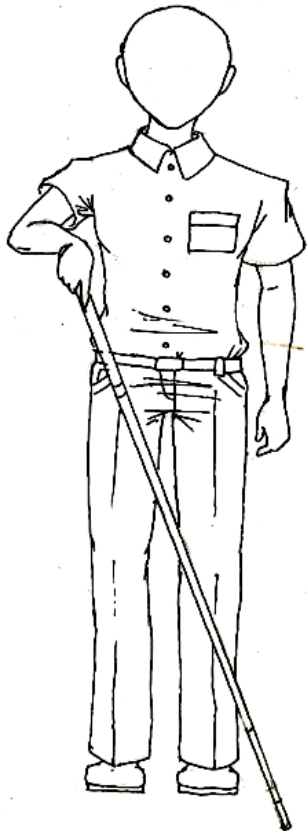
Diagonal technique

◎使用方法

- ・体の正中線に対して白杖を斜めに操作
- ・手首をかえす型 ・ペン型 ・握りバシ型

◎使用される情況

- ・物体の認識時 ・ヒューマンガイド時 ・段差等の確認時
- ・ガイドラインに沿って歩く時 ・目的方向の人の流れに沿って歩く時



盲児の環境把握の評価

**Mental
Map**

**表現
歩行の発現**

**表現形
を工夫**

**表現
点地図作成**

**表現
口頭で録音**

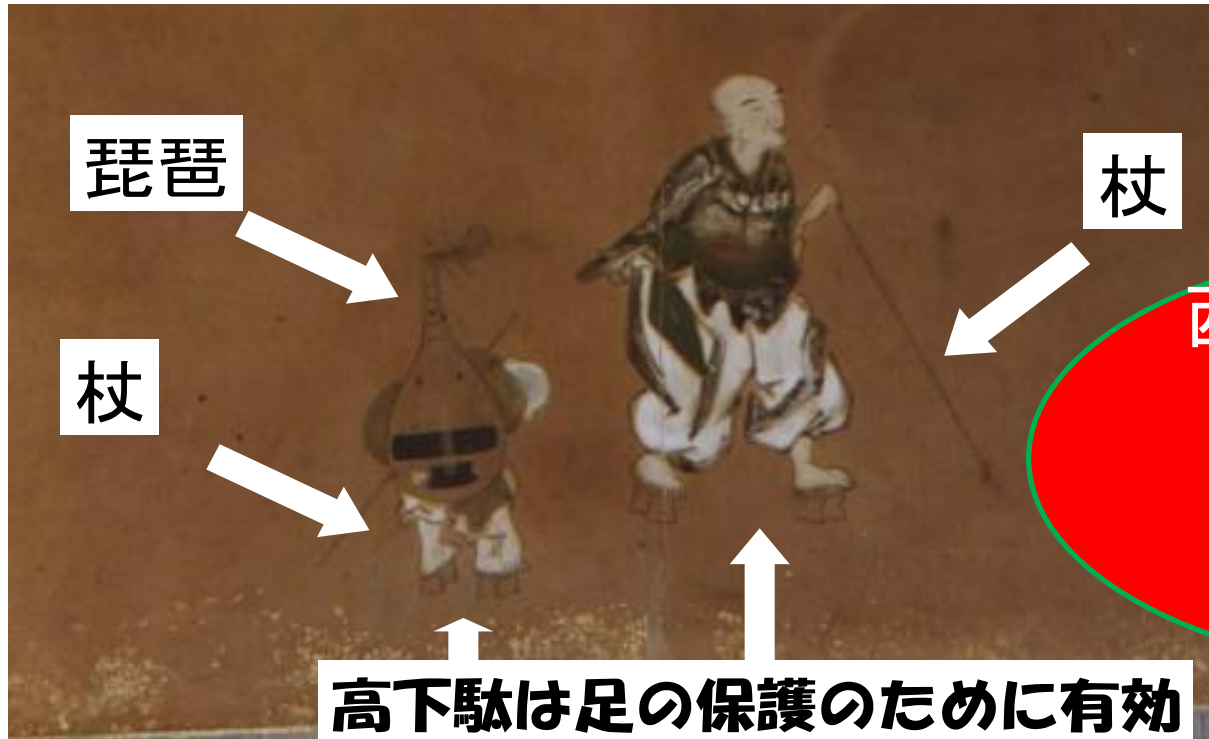
**表現
ミニチュア構成**

**表現
点字で表現**

安定性	重心を低くし膝を屈曲させ、手を前方にして足裏全体で歩く・走るのので、多少の路面状況の凹凸などの変化にも対応した安定的な歩行ができる。
安全性	物にぶつかりそうになった場合や直ぐに立ち止まる必要がある場合は、後傾姿勢になりやすいため、歩行での安全性が確保し易い。
音 源	バタバタ音を立てて歩くので、盲児自らで音源をつくって、何か障害となる物体があった場合、その物体から反響してくる音を得やすし、その反響音による物体の定位(エコー・ロケーション:Echo Location)が行い易い。

中世から近世にかけて、平家物語を語り、琵琶を弾く、
盲僧の琵琶法師は、弟子とともに全国を旅した。

Echo Location



西暦800年代以降

盲人の職業
musician

高下駄は、
歩くと
カランカランと
音がする

歩行のための杖と
高下駄を脇に置き、
特に下駄がバラバラ
にならないよう、鼻
緒に杖を通して、物
語っている琵琶法師



さっぽろ 雪祭り



雪道の歩行

資料6



鈴木が開発したスノーチップ



除雪前



除雪中

日変化



除雪中



除雪後



排雪作業 月変化



排雪前



排雪後

本格的降雪期



融雪初期

時期変化

融雪後期



ロードヒーティング



資料7

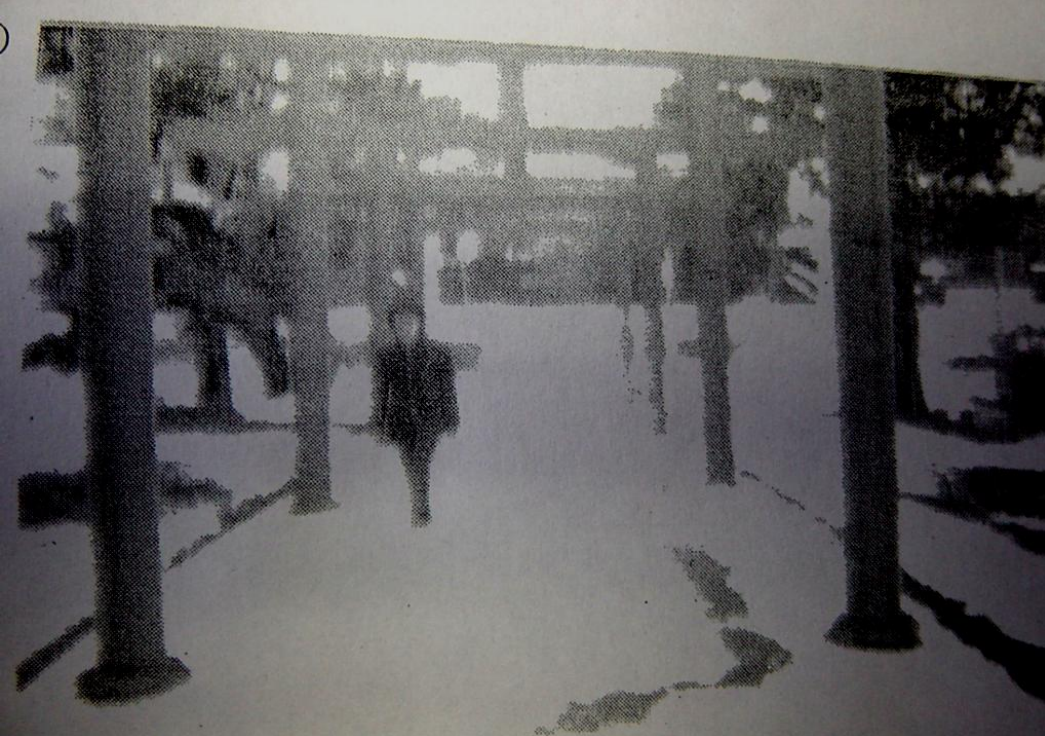


fig. 6-①

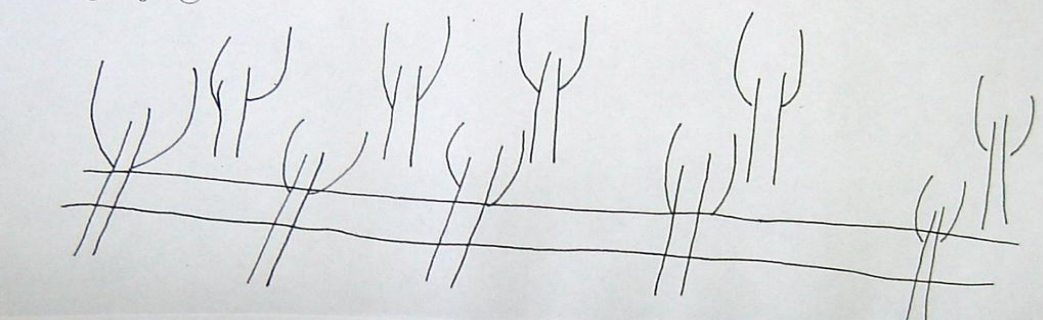
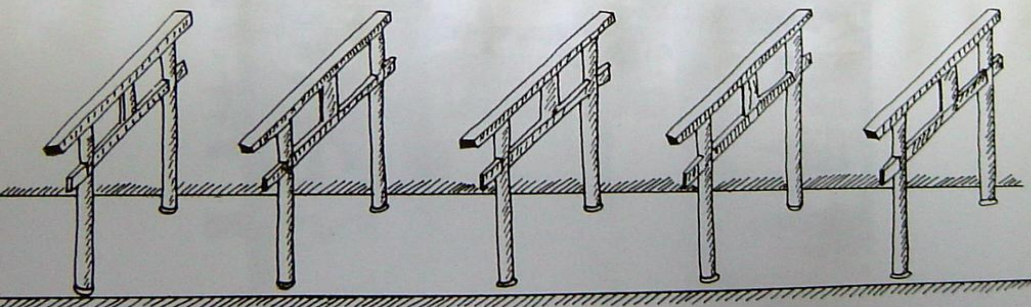


fig. 6-③



Sonicguide
中途失明生徒への
描画指導

バッティング練習

a ロケーティング(高さ、距離、方向の判断)



b スタuntingポジション(ボールを注視しつづける)



c ヒッティング

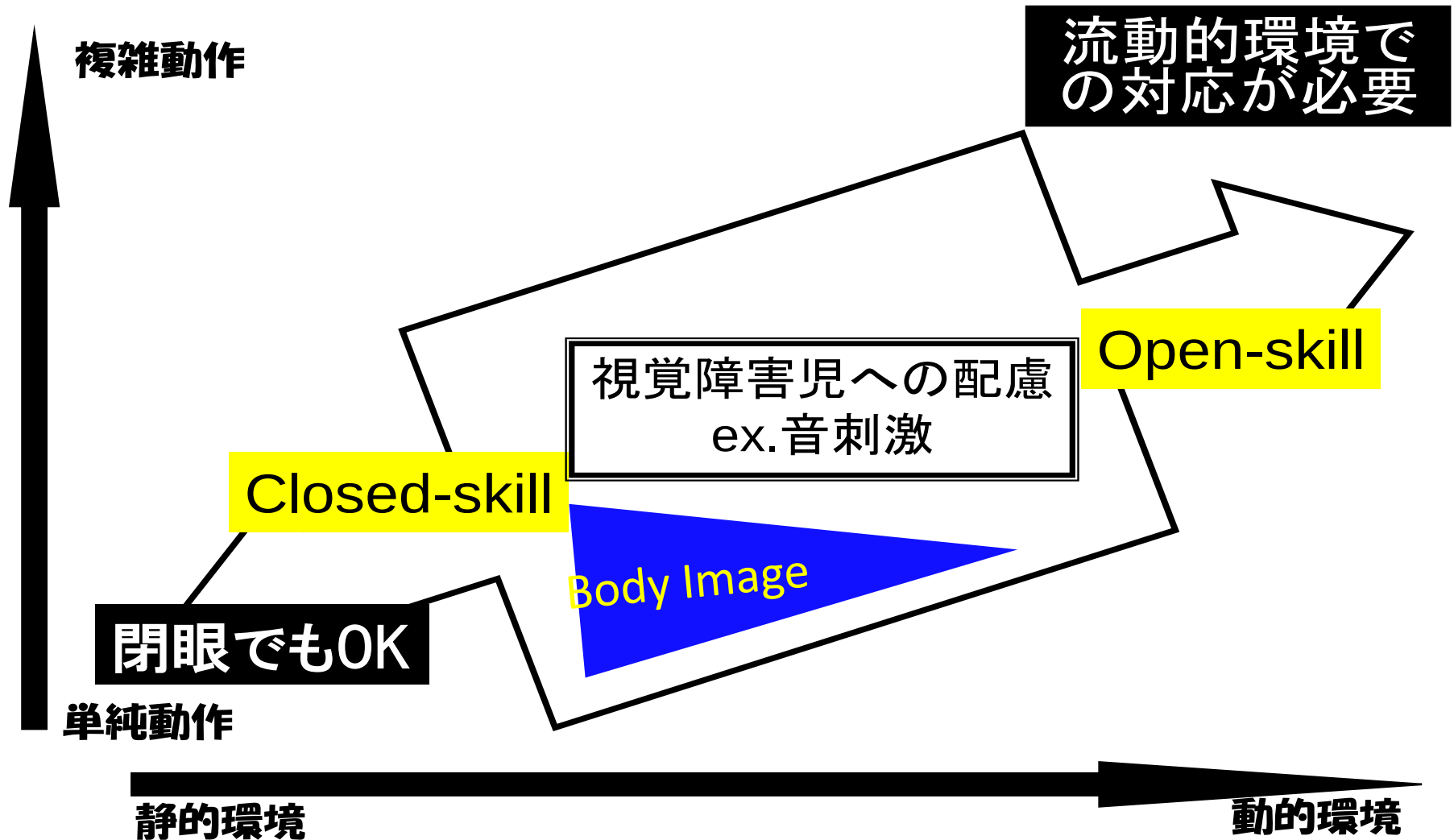


4 スポーツ指導

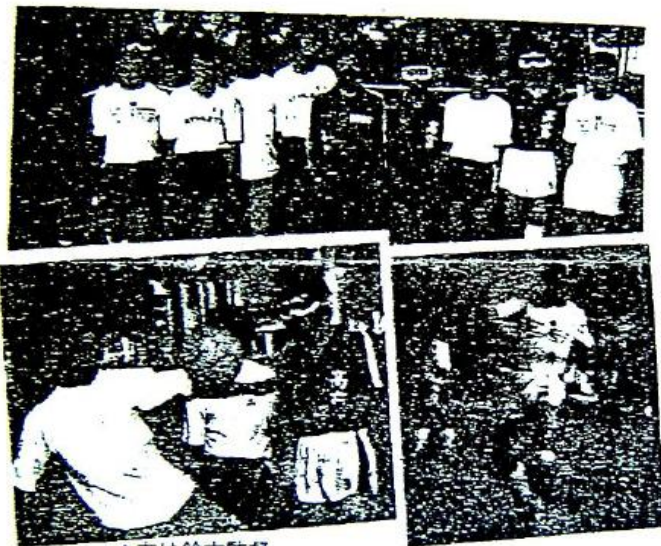
- ・体育指導の体系**
- ・レスリングの指導**

Closed-skill（閉じた技能）：基礎技術

Open-skill（開いた技能）：応用技術



1982年 高盲サッカー部の高体連加盟



▲左は鈴木監督

三が見えなくても
サッカーはできる
高体連に加盟した
北海道高等盲学校

1983年 最初の全道大会での勝利

決めた1回戦 フォール勝ち

視力0.03以下 道高等盲学校の石本選手



ベストプレイヤー
2003 7 23

1985年 北海道代表

VTR

国体群像

なボール勝ち。しかし、
競技歴は極めて浅い。
札幌稲高三年のとき始めたの
ですが、大学（北星学園）では
全くやらず昨春の卒業後、再び
やり始めたのです。いわば素人
です。これといった得意技もな

サッカー成年男子監督の
鈴木重男さんとともに道高
等盲学校のレスリング部を
指導している。2回戦で元
学生チャンピオンの佐藤新
選手（奈良）に敗れたもの
の、初戦は1分39秒に見事

弱視を「フォール、

自らも先天性の白
内障で、左目は光がようや
くわかる程度。右は裸眼で

る鈴木さんが、一年半ほど
前に生徒たちにレスリング
を教えたのを聞いて手



く、相手を倒して肩をマットに
つけることしか考え
ません。

〇・〇六、矯正しても〇・
三の視力にしかならない。
札幌盲学校時代の恩師であ

5 視覚障害教育のアラカルト

- ・統合教育**
- ・盲児指導のヒント**

統合教育

**Integration
in Education**

統合教育 Inclusion in Educationの自主研究

1972年
高雄市

1970年
韓 繼綏老子
台湾の台南駅



台湾の統合教育 1960年代から台湾とマレーシアで
American Foundation for Overseas Blind

1971年
台中市

◆ 中途失明生徒の普通高校への復学

日本で初の点字を用いた高校生

【事例の概要】

T男は昭和27年11月生まれで、小学校、中学校、昼間定時制高校と普通の学校に進んだが、昭和47年9月頃から視力の減退を自覚し、昭和48年2月にH大学病院において、多発性硬化症と診断され入院治療を行なったが同年8月、症状が一応落ち着いた事により退院、同年9月に再適応訓練のためにA高校を休学のまま、札幌盲学校に仮在籍の形をとって入学した。

T男の視力は、右-0.01、左一眼前手動弁（昭和48年8月）であった。又学力は、A高校において中位であり、運動能力は、平衡性に多少劣るところがあったが、上位に位置されたT男は、完全失明になるであろう自分の姿を知っていたが、それに耐え現在の自分を何とかしたいという意欲が旺盛であった。その事が本人にも、指導する者にもよい影響となって現われてきた。現在はA高校に復学し、昭和50年3月に卒業の予定であり、その後は高等盲学校の2部専攻科に進む予定である。

結果 A高校における前期テスト結果は、中程度であった。

学習方法は、①点訳教科書の使用、②教科担任が作成した録音テープの使用、③テスト、論文についてはカナタイプライターの使用、④拡大文字、図の使用、の4点になっているが、十分なアフターケアが出来ないために種々の問題も出て来ている。

①数学における持続した計算、式変形、原理の図解

②理科における実験、模型

③体育における、体から離れる道具を用いた教材

④板書、オーバーヘッド等による図、式の説明

ではあるが、A高校の担任が言う如くに「これらの問題点があるにはあるがそれは仕方のない事であって、T男のこれからの生活、又他普通生徒への影響を考えると、引いてもなお余りある事ではないだろうか」と言うのがまとめである。

（鈴木重夫）

北星学園札幌男子高等学校 1975 年、日本初、全盲の高校生

厚真高校の事例を知った
中学部生徒が、是非、
普通高校に行きたいと希望。
アパートに同居、食事、点訳等

盲人の普通高校入学

「体育は苦手だけど、英語と数学はむしろ得意」――全盲生徒として、初めて普通高校への入学を果たした、札幌市西区豊似八軒の私立北星学園男子高校（松田平太郎校長）一年、岩間勝美君（21）が札幌盲学校出身で、元々よく高校生活を送っている。当初、予感された様々な問題は、関係者の協力、ほとんどが解決された。岩間の普通高校への順応は、言えないだけで、普通教育への門を叩いたとき、今の教育制度に大きな疑問を投げかけている。

岩間君は、二歳の時、先天性視障害が出始め、今はほとんど視えない。全盲。義務教育の九年間、札幌市大森にある札幌盲学校（高倉盛蔵校長）で勉強してきた。高校進学に際し、岩間君は普通高校を受験することを希望し、同盲学校の高等部に進学し、大学進学がむずかしくなり、ついに、札幌市に偏りがちな盲の職域を何とかして広げたい、という同君の望みが絶たれる可能性が迫られた。このため、同盲学校の先生たちは、全盲を受け入れる高校を探したが、だが、少数の高校で、弱者の受容を認めていたものの、全盲となると、どこも門を閉じたままだった。そんな中で、北星学園男子高校だけが、校の末、受験を認めた。関に札幌盲学校の先生に案内され、校内をひと回りしただけで、

岩間君は、二歳の時、先天性視障害が出始め、今はほとんど視えない。全盲。義務教育の九年間、札幌市大森にある札幌盲学校（高倉盛蔵校長）で勉強してきた。高校進学に際し、岩間君は普通高校を受験することを希望し、同盲学校の高等部に進学し、大学進学がむずかしくなり、ついに、札幌市に偏りがちな盲の職域を何とかして広げたい、という同君の望みが絶たれる可能性が迫られた。このため、同盲学校の先生たちは、全盲を受け入れる高校を探したが、だが、少数の高校で、弱者の受容を認めていたものの、全盲となると、どこも門を閉じたままだった。そんな中で、北星学園男子高校だけが、校の末、受験を認めた。関に札幌盲学校の先生に案内され、校内をひと回りしただけで、

訳にくい漢字が多いからだ。だが、岩間君の普通高校での生活が、このように円滑に進むには関係者の隠された努力があった。まず、札幌盲学校の担任だった鈴木重男先生が、北星学園男子高校の近くのアパートに、岩間君と移り住んで、岩間君といっしょに入学した弱視の生徒と三人で共同生活を始めた。鈴木先生は、二人の朝食と昼の弁当をつくってから別の学校へ出勤、夜は夕食をつくる毎日を送っている。

また、岩間君の教科書、試験問題の点字化、点字板の使いやすい学習機の整備などが、点字翻訳のできる神田先生、外部の各奉仕団体の手によって続けられた。神田先生は「みんなの協力がなかったら、彼のスタートはつまずいたかもしれない」という。その理由は、文字が判読できる岩間君のこれまでの生活を見守ってきた鈴木先生は「まだまだ、これからだ。授業内容が高度になるにつれ、いろいろ支障が出てくるかもしれない。でも、全盲は普通高校へいけない、という教育制度を改める突破口にしたい」と話

度。鈴木先生の調査によると、米国などでは、盲人を普通人といっしょの機関で教育してゆく運動がさかんで、盲人の約五割が知能などの障害がないかぎり、高等教育機関へ進んでいる、という。道教委の調べでは、道内では、新入学児童約九万人の約〇・〇八%が視力障害者。四十九年度の道内五校の盲学校に通っている児童、生徒は約五百四十人いる。その中には、岩間君のように、普通高校への進学を希望している生徒も少なくないという。だが、道教委、学校側とも「現状では普通校での全盲者の教育は困難だ」として、入学を認めていないのが実情だ。弱視者と違って、点字が全盲者の教育には不可欠で、普通教育機関ではその条件整備がむずかしいから、といわれる。岩間君の普通高校入学は、教育界に大きな波紋を呼び起こそう。

指導のヒント

難易度1 (I-型)

い こ り に け た し も
 || || || || || || || ||

い：タテ線2本

り：左が短いタテ線

右が長いタテ線

け：左にタテ線、右に十字

し：左下のカギ線

こ：ヨコ線2本

に：左にタテ線

右に「こ」のヨコ線2本

た：左に十字

右下に「こ」のヨコ線2本

も：「し」の左下のカギ線に「こ」のヨコ線2本

難易度2 (V/型)

く へ て そ さ き ん え
 < ^ 7 7 7 7 7 7 7 7

く：「し」の左下のカギ線を90度時計回りに回転

て：「へ」を90度時計回りに回転

さ：「け」の左のタテ線を下に短く書く

ん：「し」のタテ線を右上から左下に斜めに書く

へ：「く」を90度時計回りに回転

そ：小さい「て」に続けて大きな「て」を書く

き：「け」の右の十字のヨコ線は「こ」、左のタテ線は「き」と同じ位置に書く

え：「こ」に続けて「ん」を書く

難易度3 (コ型)

つ う か ち ら や と せ
 コ コ コ コ コ コ コ コ

つ：「て」の下にヨコ線

か：「つ」と「い」の組合せ。「い」の左のタテ線を「つ」の上のヨコ線に書いて書く。「い」の右のタテ線は「つ」から右に離して書く

ら：短いタテ線を書く。少し離してタテ線に続けて「つ」を書く

と：「つ」の鏡文字を書く。上ヨコ線の上にタテ線を置くように書く。

う：「こ」に続けて「つ」を書く

ち：「し」に続けて「つ」を書く

や：「つ」と「い」の組合せ。「い」の左のタテ線を長く、右のタテ線は短く、「つ」の上ヨコ線に書いて書く

せ：「し」と「十字」の組合せ。「し」のタテ線に「十字」のヨコ線を置いて書く。

難易度4 (よ型)

よ ま は ほ す な む み
 よ ま は ほ す な む み

「よ」のヨコ線の無い形を4「基本形」とする。

よ：基本形タテ線上の右に短いヨコ線

は：「け」に続けて基本形

す：基本形の丸め終末部を下に長く伸ばす

む：「す」の丸め終末部を右に伸ばす。伸ばした線の最終部の上に「ちょん」

ま：「こ」に基本形

ほ：「は」の上のヨコ線は「こ」

な：左に「十字」、右はタテ「ちょん」、離して下に基本形

み：短いヨコ線を書き、引き続いて基本形を書いて、最終線を右に伸ばして、「十字」

難易度5 (O型)

の め ぬ あ お ゆ
 の め ぬ あ お ゆ

「の」を5「基本形」とする。

の：基本形

ぬ：「め」に続けて難易度4基本形

お：「十字」に続けて基本形、右上に離して「ちょん」

め：タテ線に基本形

あ：「十字」に基本形

ゆ：短いタテ線に続いて「つ」を書いて長いタテ線

難易度6 (U n型)

ろ る ひ わ れ ね ふ き
 ろ る ひ わ れ ね ふ き

ろ：小さな「て」に続けて「つ」

ひ：「て」に続けて縦の「つ」、上を右に伸ばす

れ：「わ」の終末部を右に伸ばす

ふ：「ろ」の左右下に「ちょん」「ちょん」

る：「ろ」に続けて難易度4基本形

わ：タテ線と「ろ」の組合せ

ね：「わ」に続けて難易度4基本形

を：「ち」と「と」の組合せ

鈴木重男

「視覚・聴覚・言語障害児の医療・療育・教育」

金芳堂 2005年

推定視力

(4. 5 cm黒ボール視力程度と視野、スキャニング)

(0. 3 × 距離m)

大きさmm



手と手を重ねて触らせ方を



触り方を教える



○物の特性を把握する多様な触察

撫ぜたり、叩いたり、噛んだり、曲げたり、
投げたり、落としたりして、その物の持つ軟硬、
粗滑、手触り、形、大きさ、重さなどを体感・
観察させる。

資料2 10頁

○触察法の鉄則

子どもを抱っこなどして、子どもと
手と手を重ねて、自分が触るように
子どもに触らせる。



動植物の触察

a



b



図 2-15 植物と動物の触察の仕方

- a. 植物は、根から茎・幹に沿って枝や葉，トゲに気をつけ，眼を近づけない。
- b. 動物は，顔，とくに鼻を定位しながら，毛並みに沿って尾や脚に。

**全南大学校
麗水キャンパスの皆様方
のご活躍とご発展を
お祈り申し上げます。**

北海道文教大学 鈴木重男